

再評価実施事業調書

番号	3	事業名	社会資本整備総合交付金（河川事業）		路線又は箇所名等		一級河川利根川水系 根木名川、派川根木名川、十日川		
事業所管課		河川整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成20年度	用地着手年度	平成20年度	工事着手年度	平成20年度	工事終了(認可)年度	令和19年度	再評価の理由	再々評価
費用便益比 B/C	7.0 (5.7)	総費用 (現在価値)	101億円 (51億円)	総便益 (現在価値)	710億円 (288億円)	基準年	令和5年度	供用開始年度	令和19年度

※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

【事業概要】

（目的）

根木名川上流の未改修区間における市街地化や、成田国際空港をはじめとする流域の開発への対応、度々浸水被害が発生している十日川等、根木名川流域一帯の浸水被害の軽減を図るため、平成19年度に策定した河川整備計画に基づき河川改修を進める。

（主な実施内容）

河道改修（河道拡幅、築堤、掘削）

根木名川：15,010m 十日川：3,100m 派川根木名川：3,300m

【事業の進捗状況】（R5年度末見込み）

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	93.1	26.9	66.2	28.9

【社会経済情勢等】

① 流域状況

根木名川流域には成田国際空港や成田市街地があり、昭和40年代から、成田ニュータウンをはじめとする住宅団地や野毛平などの工業団地の造成が盛んに行われてきた。一方、河川沿いは、特に下流部の利根川との合流点付近で広い水田地帯となっている。

根木名川の改修事業は空港関連事業として進められてきたが、水田や低い土地にある住宅や国道の湛水被害は現在も発生しており、未改修区間の治水安全度の向上が望まれている。なお、洪水時は根木名川、十日川流域の被害がその双方に及び、利根川水位上昇時においては、根木名川、十日川、派川根木名川すべてが内水氾濫状態となるため、これら3河川の改修事業は一つの事業として実施されている。

② 主な水害状況

- ・ 昭和57年9月（台風18号） 浸水家屋 222戸 浸水面積 1,186ha
- ・ 平成8年9月（台風17号） 浸水家屋 16戸 浸水面積 760ha

③ 投資効果 [裸書:全体事業、( ):残事業]

- ・ 浸水戸数 365戸 (327戸)
- ・ 浸水面積 974ha (561ha)

④ その他

- （関連事業）・ 成田国際空港
- ・ 首都圏中央連絡自動車道
- ・ 北千葉道路 等

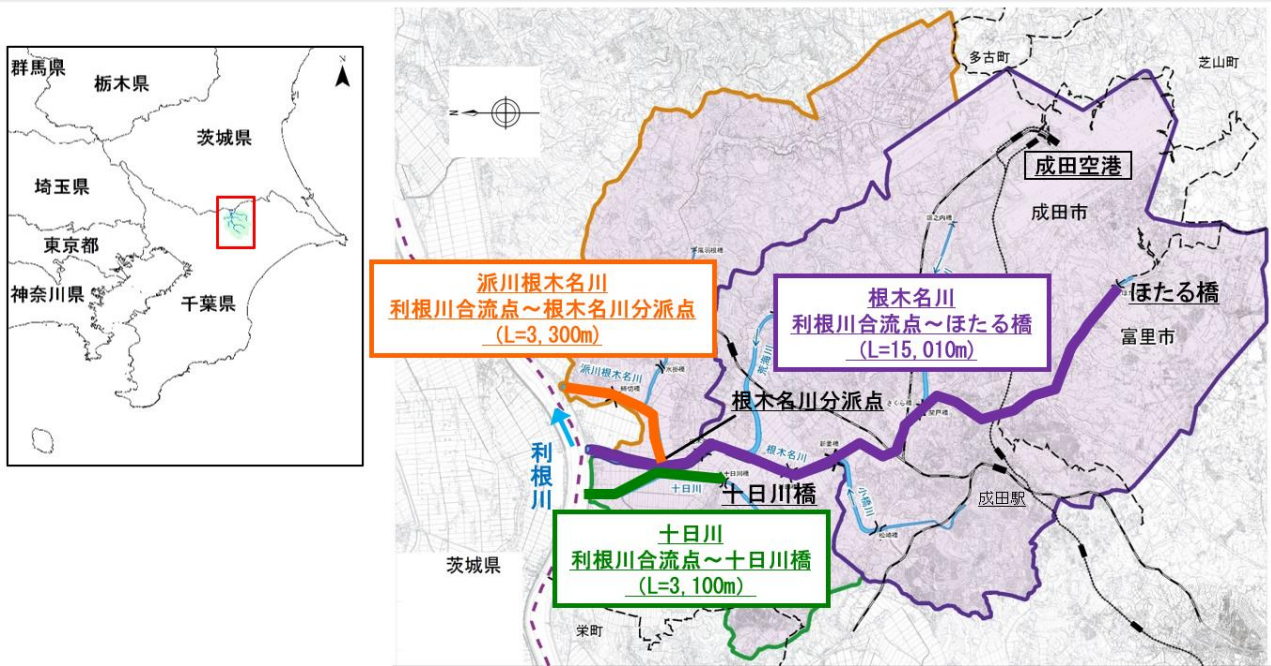
【対応方針（案）】

根木名川流域には成田国際空港の更なる機能強化や北千葉道路及び首都圏中央連絡自動車道の整備により、流域の開発に伴う雨水の流出増が見込まれ、さらに本治水事業への地元からの要望が大きく、また、全体事業の費用便益（B/C）は7.0（残事業5.7）となり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

事業概要図

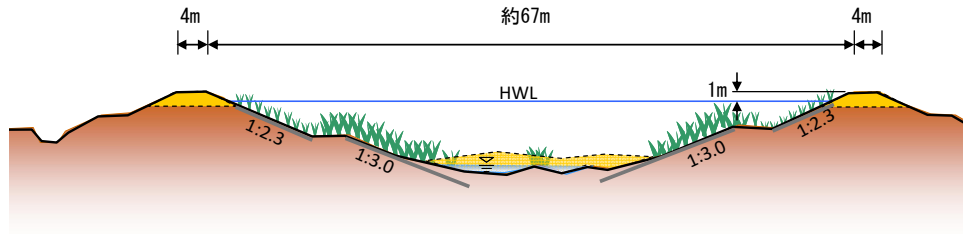
番号	3	事業名	社会資本整備総合 交付金（河川事業）	路線又は 箇所名等	一級河川利根川水系 根木名川、派川根木名川、十日川
----	---	-----	-----------------------	--------------	------------------------------

計画平面図

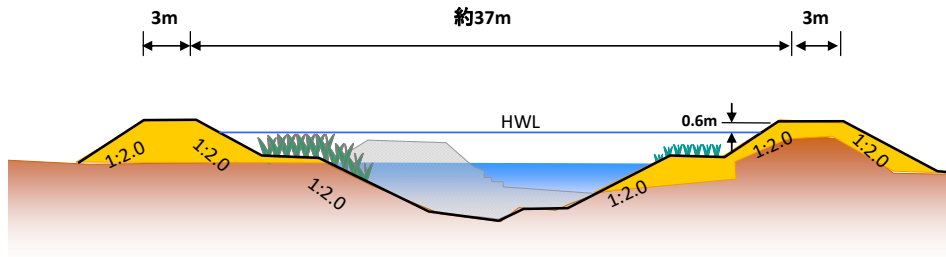


●代表横断面

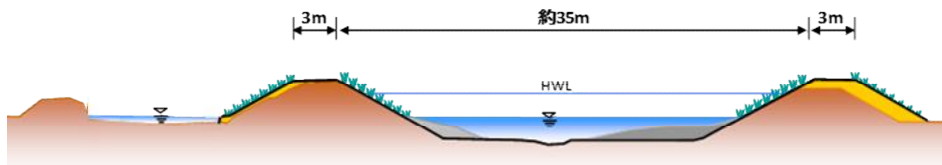
根木名川(利根川合流点～新妻橋)



十日川(利根川合流点～十日川橋)



派川根木名川(利根川合流点～尾羽根川)



## 再々評価事業に関する調書

番号	3	事業名	社会資本整備総合 交付金（河川事業）	路線又は 箇所名等	一級河川利根川水系 根木名川、派川根木名川、十日川	
事業化年度	平成 20 年	用地着手年度	平成 20 年	工事着手年度	平成 20 年	

## 【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 30 年度	供用開始年度	令和 19 年度	対応方針	継続
B/C	1.7 [2.6]	総費用	78 億円 [49 億円]	総便益	135 億円 [129 億円]

（ 裸書：全体事業、[ ]：残事業 ）

再評価時の委員会の意見及び当時の状況

○継続することが妥当である。

## 再評価時の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H30)
事業費	93.1 億円	23.1 億円 (24.8%)
うち用地・補償費	2.4 億円	0.4 億円 (16.7%)
うち工事費	90.7 億円	22.7 億円 (25.0%)

## 【再々評価（R5 年度）の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和 5 年度	供用開始年度	令和 19 年度	対応方針	継続
B/C	7.0 [5.7]	総費用	101 億円 [51 億円]	総便益	710 億円 [288 億円]

（ 裸書：全体事業、[ ]：残事業 ）

## 現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (R5 末見込み)
事業費	93.1 億円	26.9 億円 (28.9%)
うち用地・補償費	2.4 億円	0.4 億円 (16.7%)
うち工事費等	90.7 億円	26.5 億円 (29.2%)

再評価後の  
経過  
及び  
処理状況

平成 31 年 1 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価  
「継続が妥当である」